

主要産地における令和元年産水稲の生育状況等について 第3報 (6月3日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和元年6月3日)

道府県	生育状況等		技術・防除・気象等関連公表資料(自治体、気象台等公表資料の抜粋)
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等(自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等	
北海道	(育苗・田植)	<p>(全道) 苗の生育は平年並に推移しており、一部地域では移植作業が始まっている。(北海道農政部 5月15日現在)</p> <p>(空知) 苗の生育は順調であり、一部地域で移植が始まっている。(空知総合振興局 5月15日現在) (後志) 移植進捗率は2%。(後志総合振興局 5月15日現在) (胆振) 苗の生育は平年並みである。(胆振総合振興局 5月15日現在) (日高) 苗の生育は平年並みである。(日高総合振興局 5月15日現在) (渡島) 苗の生育は平年並に推移。(渡島総合振興局 5月15日現在) (檜山) 生育は平年並。(檜山振興局 5月15日現在) (上川) 生育は、平年並に推移している。(上川総合振興局 5月15日現在) (留萌) 水稲の生育は、平年並みに進んでいる。(留萌振興局 5月15日現在) (オホーツク) 苗の生育は順調である。(オホーツク総合振興局 5月15日現在)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北海道地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、平年並が多い見込み。 (気象庁札幌管区気象台)</p>
青森	(田植)	<p>・5月25日現在の田植進捗は、県全体で90%となっており、平年より12ポイント高かった。 県全体の田植最盛期は、平年より2日早い5月20日であった。</p> <p>(東青) 88% (中青) 91% (西青) 95% (上北) 85% (下北) 54% (三八) 78%</p> <p>(青森県 5月28日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は、平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>・東北地方では、6月4日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。 (気象庁)</p>
岩手	(田植・生育)	<p>・本年の育苗期間は、寒暖の変化が大きく、前半の低温の影響で草丈が短い苗もみられたが、苗質(充実度)は平年並に良好となった。</p> <p>・田植は、各地で平年並に盛期となり、概ね適期内に終了する見込み。6月は全般に気温が高く好天に恵まれたことから、活着は良好であり、各地の生育も順調に進んでいる。</p> <p>(岩手県 5月30日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は、平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>・東北地方では、6月4日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。 (気象庁)</p>
宮城	(田植)	<p>・5月27日現在の県全体の田植進捗率は98.6%であり、田植が95%終了した田植終期は平年より1日遅い5月22日であった。 いずれの地区・地帯区分も田植終期に達している。</p> <p><地区別進行状況> (大河原) 98.2% (仙台) 96.9% (大崎) 99.2% (栗原) 97.9% (登米) 99.5% (石巻) 99.9% (気仙沼) 98.2%</p> <p>(宮城県 5月28日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は、平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>・東北地方では、6月4日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。 (気象庁)</p>
秋田	(田植・生育)	<p>(秋田) 田植作業が終期を迎えている。(5月31日付) (平鹿) 移植の盛期(進捗率50%)は5月24日(平年より1日早い)。(5月31日付) (由利) 5月30日現在、田植作業の進捗率は97%で、終期(進捗率95%)は平年よりやや遅い5月30日。(5月31日付) (山本) 5月30日現在の田植作業の進捗率は98.2%で、作業は終期を迎えている。(5月31日付) (北秋田) 5月25日現在の田植作業は、74%の進捗。盛期(50%)は平年並みの5月22日。田植後の生育は、好天により良好。(5月31日付)</p> <p>(仙北) 管内全域で田植作業が行われている。(5月24日付) (雄勝) 管内全域で田植作業が行われている。(5月24日付) (鹿角) 5月15日現在、新起の進捗率は100%。田植の進捗率は3.8%であり、始期(進捗率5%)は5月17日の見込み。また、直播播種の進捗率は47.0%であり、盛期(進捗率50%)は5月16日の見込み。(5月17日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は、平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>・東北地方では、6月4日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。 (気象庁)</p>
山形	(生育)	<p>・田植盛期は平年より1日早い5月18日となり、活着は概ね良好。5月31日現在の生育は、平坦部「はえぬき」で草丈が平年よりやや長く、葉数は多く、葉数はやや多くなっている。 (山形おいしき際立つ!米づくりプロジェクト本部 5月31日付)</p> <p>(鶴岡田川) 生育診断書の5月31日の生育は、草丈、葉数ともに平年を上回っており、葉数の進展から見ると生育は3～4日程度早まっている。(庄内総合支庁 農業技術普及課 6月3日付)</p> <p>(北村山) 移植後の好天で活着は良好。(村山総合支庁産業経済部北村山農業技術普及課 5月29日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は、平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>・東北地方では、6月4日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。 (気象庁)</p>
福島	(生育)	<p>・移植栽培の播種作業は、始期(5%終了)が4月8日(平年差-1日)、盛期(50%終了)が4月16日(平年差±0日)、終期(95%終了)が4月25日(平年差+1日)で平年並に進んだ。</p> <p>・苗の生育は概ね順調で、病害の発生は少ない状況。4月下旬より田植が始まっている。</p> <p>(福島県 5月10日現在)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は、平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>・東北地方では、6月4日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。 (気象庁)</p>
茨城	(生育)	<p>(4月26日移植)</p> <p>・生育ステージは分けつ盛期、対平年遅速は2～5日早い。 主稈葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」で平年より4日、「ふくまる」で5日、「コシヒカリ」で2日早い。 草丈は「あきたこまち」、「コシヒカリ」でやや短く、「ふくまる」は平年並である。葉色は「あきたこまち」および「コシヒカリ」で淡く、「ふくまる」は平年並である。</p> <p>(5月7日移植) 生育ステージは分けつ盛期、対平年遅速は1日遅い。 主稈葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」、「コシヒカリ」とともに平年より1日遅い。草丈は「あきたこまち」で平年並、「コシヒカリ」で平年よりやや短い。葉色は高品種ともやや淡い。</p> <p>(茨城県農業総合センター 5月31日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>・関東甲信地方では、6月4日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。 (気象庁)</p>

生育状況等	
栃 木	<p>・早植栽培（品種：コシヒカリ）（5月24日調査結果）</p> <p>1. 苗調査 苗草丈は高く（平年比106%）、乾物量は重く（平年比110%）、葉齢は平年並からやや進み（+0.1葉）、平年並の苗となった。</p> <p>2. 本田における生育調査 草丈はやや高く（平年比103%）、茎数は少ない（88%）。葉齢は平年並（-0.1葉）。葉色は平年より淡く（-0.4）、生育診断値（葉色×茎数）は平年より小さい（80%）。</p> <p>（栃木県 5月28日付）</p>
千 葉	<p>・育苗は、4月上旬は気温がやや低かったものの、生育は概ね平年並みに進んだ。 ・移植後の生育の進みは、「平年並み」～「やや早」で推移しているが、4月植えは4月下旬の低温、5月植えは5月の強風の影響を受けて、地域によって草丈や茎数に差がある。</p> <p>（千葉県 5月22日付）</p>
新 潟	<p>・コシヒカリは、指標値（生育のめやす）に比べ、茎数が多く、生育が早まっている。</p> <p>・5月上旬植えのつきあかり、ゆきん子舞、こしいぶきは、茎数が「やや多い」～「多い」状況。</p> <p>（新潟県 5月30日付）</p> <p>（佐渡）5月は暖かい日が多かったこともあり、分けつが順調に発生している。</p> <p>（佐渡農業普及指導センター 5月30日付）</p> <p>（岩船）・管内の田植え盛期は5月11日で平年並であった。 ・コシヒカリの田植え期以降の5月中下旬は高温・多日照で経過しており、多くのほ場で分けつが発生している。 ・徒長苗が植え付けられたほ場や荒川沿いの風当たりの強い地域では、植え傷みが発生し初期生育の遅れが見られる。（村上農業普及指導センター 5月30日付）</p> <p>（上越）生育は、5月中旬以降、高温多日照で経過したことから、早く進んでいる。</p> <p>（上越農業普及指導センター 5月30日付）</p>
富 山	<p>（本田での生育状況）</p> <p>・てんたかく平年に比べ、草丈は並み、茎数はかなり多く、葉齢はかなり進んでいる。</p> <p>・コシヒカリ平年に比べ、草丈はやや長く、茎数はかなり多く、葉齢は進んでいる。</p> <p>・てんこもり平年に比べ、草丈はやや長く、茎数はかなり多く、葉齢はかなり進んでいる。</p> <p>（富山県 農業技術課広域普及指導センター 5月28日付）</p>
石 川	<p>（本田の生育）</p> <p>1. 草丈 コシヒカリは平年比84～126%（県平均107%；加賀：107%、能登：107%）、と平年及び前年よりやや長い。ゆめみづぼは、近年比93～117%（県平均：108%、加賀：105%、能登：114%）と加賀地域は近年及び前年よりやや長く、能登地域は近年より長く前年並。ひやくまん穀は、近年比87%～142%（県平均：110%、加賀：110%、能登119%）と加賀地域で近年並で前年より長く、能登地域は近年及び前年より長い。</p> <p>（生育）</p> <p>2. 茎数 コシヒカリは平年比75～235%（県平均：142%、加賀：141%、能登144%）と平年及び前年より多い。ゆめみづぼは、近年比98～228%（県平均：164%、加賀：171%、能登：146%）と近年及び前年より多い。ひやくまん穀は、近年比99%～170%（県平均：128%、加賀：118%、能登：143%）となっており加賀地域で近年よりやや多く前年より多く、能登地域では近年及び前年より多い。</p> <p>（石川県農林総合研究センター 5月28日調査 5月29日）</p>
福 井	<p>（生育）</p> <p>・全体的に草丈がやや短めで、分けつ数はやや少ない。</p> <p>（水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 5月30日付）</p>
長 野	<p>（生育）</p> <p>・育苗は、4月上旬は気温がやや低かったものの、生育は概ね平年並みに進んだ。 ・移植後の生育の進みは、「平年並み」～「やや早」で推移しているが、4月植えは4月下旬の低温、5月植えは5月の強風の影響を受けて、地域によって草丈や茎数に差がある。</p> <p>（長野県 5月22日付）</p>

生育状況等		
滋賀		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>・6月4日から6月13日までをとおして、近畿地方では、7日間平均気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。(気象庁)</p>
兵庫		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>・6月4日から6月13日までをとおして、近畿地方では、7日間平均気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。(気象庁)</p>
岡山		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 中国地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>・6月4日から6月13日までをとおして、中国地方では、7日間平均気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。(気象庁)</p>
広島		<p>向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 中国地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>・6月4日から6月13日までをとおして、中国地方では、7日間平均気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。(気象庁)</p>
愛媛		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>・6月4日から6月13日までをとおして、四国地方では、7日間平均気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。(気象庁)</p>
高知	<p>(5月17日時点の生育状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月5日移植では、前回調査時(5月10日時点)と同じく莖数が平年より少なく、特に「南国そだち」と「コシヒカリ」では平年より1～2割少ない状態。また、4月15日移植「コシヒカリ」は、前回に引き続き順調に生育。 <p>【南国そだち】(4月5日植・稚苗) 莖数は平年に比べ少ないが、5月10日時点では平年比73%であったのが、今回は85%と増加しており、徐々に回復の傾向がみられる。草丈は平年より低いが、葉齢は平年並みで推移している。</p> <p>【よさ恋美人】(4月5日植・稚苗) 同日移植の「コシヒカリ」と比較して、莖数は株当たり1本程度少ないが、草丈、葉齢は同程度で生育している。</p> <p>【コシヒカリ】(4月5日植・稚苗) 莖数は平年に比べやや少なく、5月1日時点と比較すると増加傾向はみられるものの、莖数は86%にとどまっている。草丈は平年より低いが、葉齢は平年並みで推移している。</p> <p>【コシヒカリ】(4月15日植・稚苗) 草丈は平年より低い一方で、莖数は、平年よりやや多く、葉齢は平年並みで推移している。</p> <p>(高知県農業技術センター 5月24日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>・6月4日から6月13日までをとおして、四国地方では、7日間平均気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。(気象庁)</p>
福岡	<ul style="list-style-type: none"> ・早期水稲(夢つくし、コシヒカリ) 田植えは平年並で最盛期は4月下旬、5月1日までに終了。 田植え後、高温で経過したため、苗の活着及び初期生育は順調。 ・普通水稲(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど) 6月上中旬植えの育苗作業が行われており、苗の生育は順調。 出穂期以降の高温を想定し、「夢つくし」の田植えは6月上中旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬を中心に行われる見込み。 「元気つくし」の田植えは6月中下旬の見込み。 <p>(福岡県農林総合試験場 5月15日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州北部地方の3か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>・6月4日から6月13日までをとおして、九州北部地方では、7日間平均気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。(気象庁)</p>

生育状況等	
熊本	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州北部地方の3か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月4日から6月13日までをとおして、九州北部地方では、7日間平均気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。(気象庁)
宮崎	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 九州南部地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の向こう3か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月4日から6月13日までをとおして、九州南部では、7日間平均気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。(気象庁)
鹿児島	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月1日～6月30日】 九州南部地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の向こう3か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月4日から6月13日までをとおして、九州南部では、7日間平均気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。(気象庁)

注1：国及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：前報からの更新箇所は赤字で示した。

参考・引用資料:

農作物の生育状況 5月15日現在(北海道 5月20日)、農作物生育状況 5月15日現在(北海道空知総合振興局 5月20日)、
農作物の生育状況 5月15日現在(北海道後志総合振興局 5月20日)、
農作物の生育状況 5月15日現在(北海道胆振総合振興局 5月20日)、農作物の生育状況 5月15日現在(北海道日高振興局 5月20日)、
農作物の生育状況 5月15日現在(北海道渡島総合振興局 5月20日)、農作物の生育状況 5月15日現在(北海道檜山振興局 5月20日)、
農作物の生育状況 5月15日現在(北海道上川総合振興局 5月20日)、農作物生育状況調査の概要 5月15日現在(北海道留萌振興局 5月20日)
農作物の生育と農作業の進捗状況 5月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 5月20日)、
5月25日現在田植え進捗状況(青森県 5月28日)、
農作物技術情報第3号 水稲(岩手県 5月30日)、
令和元年度水稲の田植状況について(5月27日現在)(宮城県農政部みやぎ米推進課 5月28日)、
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 5月31日付)、
おいしい米づくり情報第5号(庄内総合支庁農業技術普及課 6月3日)、米づくり技術情報No.4(やまがたおいしき際立つ!米づくりプロジェクト本部 5月31日)、
主要な農作物の生育情報令和元年度第2号(福島県農林水産部 5月10日現在)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 5月31日付)、
令和元(2019)年度水稲生育診断予測事業速報No.1(栃木県 5月28日付)、
水稲の生育状況と当面の対策第1報(千葉県農林水産部 5月22日)、
水稲の生育状況と今後の管理対策(第1号)(新潟県農林水産部 5月31日)
稲作生育速報No.1(佐渡農業普及指導センター 5月30日)、コシヒカリ・こいぶき生育速報(上越農業普及指導センター 5月30日)、
岩船米生育速報(5月30日現在)(村上農業普及指導センター)、
TACS情報第1号(富山県農業技術課 5月28日)、
令和元年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-2号)(石川県農林総合研究センター 5月28日調査)、
稲作情報No.5(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 5月30日)、
令和元年度における早期水稲の生育状況(5月17日時点)(高知県農業技術センター 5月24日)、
福岡県の主な農作物の生産状況(福岡県農林業総合試験場 5月15日)、

令和元年度病害虫発生予報第2号(農林水産省 5月15日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(5月30日札幌管区气象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(5月30日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(5月30日気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(5月30日新潟地方气象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(5月30日大阪管区气象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(5月30日広島地方气象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(5月30日高松地方气象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(5月30日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(5月30日鹿児島地方气象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(5月24日札幌管区气象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(5月24日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(5月24日気象庁)、
北陸地方こう3か月の天候の見通し(5月24日新潟地方气象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(5月24日大阪管区气象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(5月24日広島地方气象台)、
四国地方こう3か月の天候の見通し(5月24日高松地方气象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(5月24日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(5月24日鹿児島地方气象台)、

異常天候早期警戒情報(気象庁 5月30日 14時30分)